

第6回看護人間工学会学術集会報告

テーマ：生活環境を見つめる看護学と人間工学のアプローチ

学術集会長：田中美智子（宮崎県立看護大学）

日時：2024年9月14日（土）9:15～17:00（8:40開場）

場所：宮崎県立看護大学（宮崎市まなび野3-5-1）

+ Webのハイブリッド開催

第6回看護人間工学会学術集会（in Miyazaki）は、8月上旬の地震&台風13号の影響を心配しましたが、無事に現地開催ができました。1日という短い時間でしたが、対面とオンラインによるハイブリッド開催で、充実した学会となりました（参加人数対面37名、オンライン22名 計59名）。

【会長講演】「日常生活で睡眠を測る」

講演者：田中 美智子（宮崎県立看護大学）

座長：長坂 猛（宮崎県立看護大学）

【特別講演1】「家庭内の温熱環境が及ぼす健康影響」

講演者：橋口 暢子（九州大学）

座長：田中 美智子（宮崎県立看護大学）

【特別講演2】「デジタルヘルスアプリを用いた腰痛リスク数値化の試み」

講演者：田村 宏樹（宮崎大学）

座長：長坂 猛（宮崎県立看護大学）

【総会】

【一般演題1】5演題（3演題はリモート発表）

座長：小野 保（岩手医科大学）

【教育講演】「高齢者を対象とした測定機器の活用」

「仰臥時の枕の高さと眼圧」

講演者：直井 信久（前・宮崎大学）&

野呂 影勇（早稲田大学・エルゴシーティング）

「褥瘡予防と歩行時の測定」

講演者：岩崎 幸恵（武庫川女子大学）&

伊部 亜希（敦賀市立看護大学）

座長：徳重 あつ子（武庫川女子大学）

【一般演題2】4演題

座長：中島 佳緒里（日本赤十字豊田看護大学）

第6回 看護人間工学会
学術集会 in Miyazaki
2024年9月14日（土）



生活環境を見つめる
看護学と人間工学のアプローチ



【特別講演】
家庭内の温熱環境が及ぼす健康影響
橋口暢子（九州大学）
デジタルヘルスアプリを用いた腰痛リスク数値化の試み
田村宏樹（宮崎大学）

【教育講演】
高齢者を対象とした測定機器活用 デモ
① 仰臥時の枕の高さと眼圧：在宅対応型眼圧測定器と
新開発体圧測定装置のデモ
直井信久（前宮崎大学）/ 野呂影勇（早稲田大学・エルゴシーティング）
② 褥瘡予防と歩行時の測定のデモ
岩崎幸恵（武庫川女子大学）/ 伊部亜希（敦賀市立看護大学）

あなたを、ひなたへ。

大会長：田中美智子（宮崎県立看護大学）
大会事務局：長坂 猛（同上） miyazaki.nursing@gmail.com
学会場：宮崎県立看護大学（宮崎空港からタクシー5分）
参加費：会員4,000円・非会員5,000円（学部学生無料）・ライブ配信2,000円 予定
（宮崎市街地にて懇親会も計画しています）



看護人間工学会
広報渉外委員会
2024年10月



テーマ：生活環境を見つめる看護学と人間工学のアプローチ

第6回 看護人間工学会 学術集会 in Miyazaki

テーマ：生活環境を見つめる
看護学と人間工学のアプローチ

プログラム・抄録集



会期：2024年9月14日（土）
会場：宮崎県立看護大学



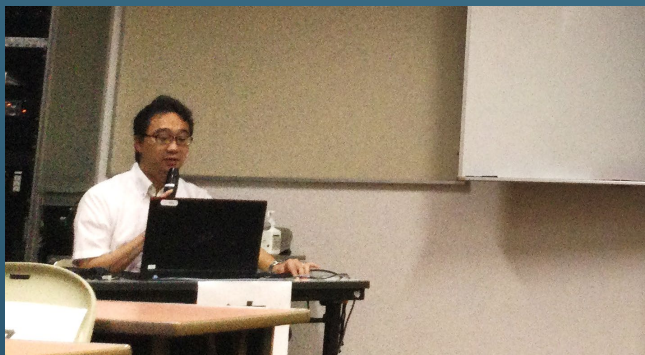
【理事長挨拶】
水戸 優子



【会長講演】 田中美智子



【特別講演1】 橋口 暢子



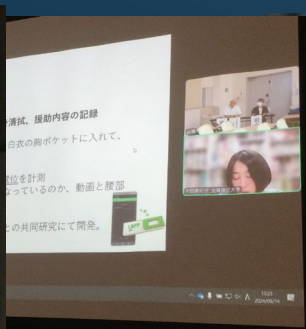
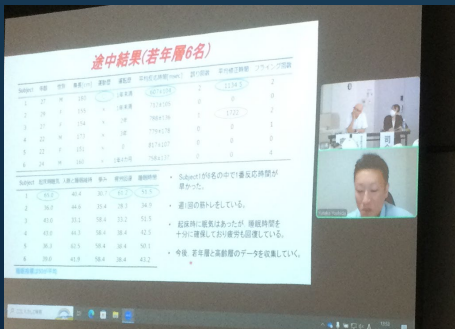
【特別講演2】 田村 宏樹



【教育講演】野呂影勇 & 直井信久、岩崎幸恵



【次期大会長】
小野 保



【一般演題セッション】 リモート & 対面で全9演題発表

【アンケート結果】参加者（58名）にオンラインでアンケート調査を行った。回答者は19名（回答率 32.8%）。

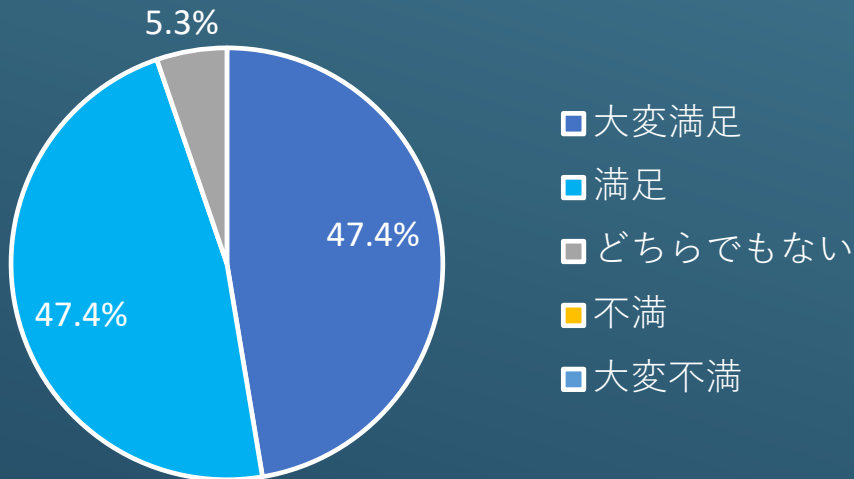
回答いただいた方の属性：

正会員 12人（63.2%）、非会員 7人（36.8%）

年代は20歳代 2人（10.5%）、30歳代1人（5.3%）、40歳代5人（26.3%）、50歳代7人（36.8%）、60歳代2人（10.5%）、70歳以上2人（10.5%）でした。

職種は教員13人（68.4%）、研究職2人（10.5%）、その他4人（21.1%）でした。

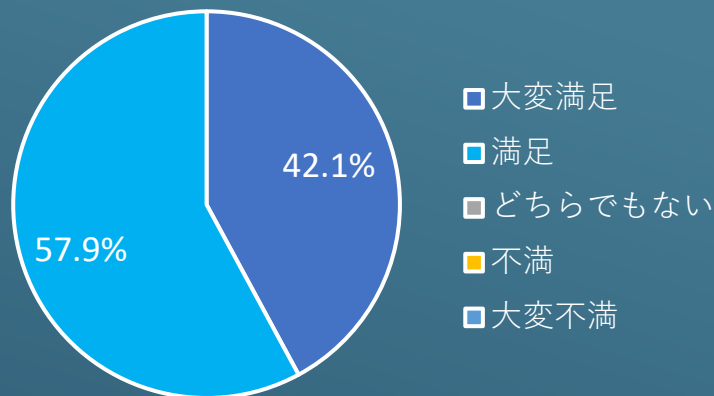
学術集会の運営はいかがでしたか？（n=19）



【運営に関してのご意見】

- ◆ 直前の申込にご対応いただきました。リモートでの参加ですが、音声がかきこいで若干聞きづらかった印象です。
- ◆ ハイブリッドの難しさはありますが、スムーズな進行でした。
- ◆ とくとき音声が途切れたように思います。
- ◆ Zoomでの学会参加が初めてでしたが、タイムラグを感じず、リアルタイム感を実感出来ました。
- ◆ 何も滞りなく進んだ。
- ◆ 台風や自然災害への対応を考えながらの準備・運営はとてご苦労されたことと拝察いたします。トラブルなく終わられたのは、スタッフのみなさまのご尽力のおかげだと思います。
- ◆ 開催前より、大変丁寧な対応をいただいたこと、当日も心地よく参加できたため、子育て中のため遠方に出向けませんので、オンラインがあつて嬉しかったです。
- ◆ ほぼ円滑に運営されておりました。オンラインの音声管理が、難しそうでした。
- ◆ 途中、発表最中であるのか、エラーなのかわかりにくい場面がありました。
- ◆ 静かな雰囲気、接遇（事務局）も過不足なし
- ◆ オンライン参加だったが、遠方から参加できたこと。またオンラインによる運営も問題なかったこと。

全体として、学術集会に参加して満足しましたか？ (n=19)



【学術集会全体のご意見】

- ◆ 遠方の集会には参加しづらいですが、リモートで最新の興味深い研究内容を聞くことができました。
- ◆ 研究へのモチベーションが上がりました。
- ◆ 看護工学に関して新しい知見を得たこと、日常何気ないことに研究の余地、必要があることに気づきました。
- ◆ 看護学と人間工学の繋がりが看護の質の向上の認識が深まり、自身の研究への方向付けにもなりました。
- ◆ 対面で研究や近況について直接交流ができて、刺激を受けた。
- ◆ 交流や発表をしやすい雰囲気がいよいです
- ◆ 研究のおもしろさを感じました。
- ◆ 小規模ながら、刺激的でアットホームな学術集会でした。
- ◆ いろんな意味でリフレッシュ出来ました。
- ◆ 人間工学という、新たな分野と看護との融合を考える契機になりました。
- ◆ 対面の充実感。意思疎通の良さ
- ◆ 学会員の先生がたとコミュニケーションがとれた。

【本学会に関してのご意見】

- ◆ 学会の素晴らしさを広めて、人間工学の概念の多様さを知ってもらい、会員を増やしたいと思います。
- ◆ アットホームな参加しやすい学会だと思います。日程の都合で現地にいけず参加がむずかしいなかオンデマンドがあり大変ありがたいです。
- ◆ 非会員に対しても丁寧なご対応に感謝しております。
- ◆ 発表抄録のボリュームなどもちょうどよいと思います。来年の開催も楽しみにしています。
- ◆ アーカイブが残るともっと嬉しいです。
- ◆ 何か、研究始めます！
- ◆ 会員数が臨界値になりそうで心配。理事会は理事長だけに任せないでもっと積極的に！
- ◆ 運営の当番はもちまわりにすべきですが、移動を考えると開催地は大都市を軸にしてもよいと思います。

貴重なご意見ありがとうございました。来年は岩手でお会いしましょう。
第7回学術集会長 小野 保先生(岩手医科大学)です。